

魚島勝美, 前田健康: ラット上顎骨に植立したチタンインプラント周囲骨組織の長期的変化. 平成 19 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2007. 11. 10, 新潟歯学会雑誌, 37 (2): 印刷中, 2007.

- 26) 三上 諭, 荒井良明, 岡田直人, 富塚 健, 魚島勝美: 光重合レジンを用いたインプラント用テンプレート試作とその臨床応用. 第 27 回日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部学術大会, 東京, 2008. 2.2-3.

#### 【研究会発表】

- 1) 金谷 貢, 岡田直人, 熊倉喜久夫, 山野井敬彦: 第 2 回ワークショップ. 新潟県歯科技工士会新潟支部学術研修会, 新潟, 2007.3.18.

#### 【その他】

- 1) 北村絵里子: 患者様の満足度を高めるための歯科衛生士の役割 - リハビリメイク入門 -. 厚生連歯科衛生士春期研修会, 長岡, 2007.6.17.
- 2) 野村修一: 口腔機能を評価するための基礎知識②. 平成 19 年度新潟大学歯学部公開講座【介護予防のための「口腔機能の向上」入門講座】, 新潟, 2007.6.26.
- 3) 岡田直人: 要介護高齢者のための義歯着脱補助具の製作, 明倫短大第 34 回野村研究室プレゼンテーション, 明倫短大, 2007.7.19.
- 4) 野村修一: 入れ歯の歴史. あさひまち展示館セミナー「歯科の歴史 - 歯科医療の変遷 - », 新潟, 2007.10.10.
- 5) 北村絵里子: リハビリメイクとは. 新潟大学医歯学総合病院 歯科看護師勉強会, 新潟, 2007.10.31.
- 6) 野村修一: 歯学部で何を学ぶのか. 新潟第一高等学校進学講話, 新潟, 2007.11.15.
- 7) 田口裕哉: 咬合回復における TEK の活用とコツ, 印象採得域・方法と咬合器の選択. 平成 19 年度臨床研修医セミナー, 新潟, 2007.12.19.
- 8) 佐藤一夫: 歯科用レーザーの現状と未来. 平成 19 年度臨床研修医セミナー, 新潟, 2007.1.28.

### 歯科矯正学分野

#### 【論文】

- 1) Chen F, Wu L, Terada K, Saito I. : Longitudinal intermaxillary relationships in Class III malocclusions with low and high mandibular plane angles. *Angle Orthod.* 77 : 397-403, 2007.
- 2) Kanaya T, Kaneko N, Amaike C, Fukushima M, Morita S, Miyazaki H, Saito I. : A study on changes in caries risk and microbial flora with the

placement of edgewise appliance. *Orthodontic Waves*, 66 : 27-32, 2007.

- 3) Al-Gunaid T, Yamada K, Yamaki M, Saito I. : Comparative cephalometric study of orthognathic surgery norms in Yemeni and Japanese adult males. *Niigata Dent J.* 37 : 1-8, 2007.
- 4) Maeda T, Ono K, Ohuchi A, Hayashi T, Saito I, Okiji T, Uoshima K. : An evaluation of problem-based learning course at Niigata University Faculty of Dentistry. *Dentistry in Japan*, 43 : 166-171, 2007.
- 5) Al-Gunaid T, Yamada K, Yamaki M, Saito I. : Soft-tissue Cephalometric Norms in Yemeni Adult Males. *Am J Dentofacial Orthop.* 132 : 576.e7-576.e14, 2007.
- 6) W.P. Holbrook, P. Brodin, I. Balciuniene, V. Brukiene, M. V. Bucur, E. Corbet, J. Dillenberg, D. Djukanovic, K. Ekanayake, H. Ericksen, J. Fisher, G. Goffin, P. Hull, T. Kumchai, P. Lumley, J. V. Mathur, A. Novaes Jr, A. Puriene, V. Roger-Leroi, I. Saito, S. Turner, L. Mabelya : Balancing the role of the dental school in teaching, research and patient care; including care for underserved areas. *Europ J Dent Education*, 12, Suppl 1, 161-166, 2008.
- 7) Fengshan Chen, Kazuto Terada, Luyi Yang, Isao Saito : Dental arch widths and mandibular-maxillary base widths in Class III malocclusions ages 10 to 14. *Am J Orthod Dentofacial Orthop.* 133 : 65-69, 2008.
- 8) Nakamura J, Miyaoka Y, Takagi M : Influences of tongue protrusion on rhythmical jaw movement in rats. *Journal of Oral Biosciences*, 49 : 269-277, 2007.
- 9) 寺田員人, 朝日藤寿一, 小野和宏, 八木 稔, 吉羽邦彦, 小林正治, 飯田明彦, 櫻井直樹, 竹石英之, 毛利 環, 松山順子, 田中 礼, 瀬尾憲司, 寺尾恵美子, 知野優子, 吉岡節子, 大内章嗣, 北村絵里子, 齋藤 功, 齋藤 力, 児玉泰光, 高木律男, かづきれいこ: 新潟大学医歯学総合病院(歯科)における口蓋裂診療班の活動について. *日口蓋誌*, 32 : 43-56, 2007.
- 10) 若松孝典, 八巻正樹, 花田晃治, 林 孝文, 齋藤功: 顔面非対称を伴う下顎前突症患者における顎骨非対称の三次元評価. *日顎変形誌*, 17 : 29-36, 2007.
- 11) 小野和宏, 小林正治, 齋藤 力, 福田純一, 高木律男, 朝日藤寿一, 竹山雅規, 齋藤 功: 口唇口蓋裂患者における上顎狭窄歯列弓の側方拡大. *日顎変*

- 形誌, 17: 206-212, 2007.
- 12) 松原大樹, 寺田員人, 中村康雄, 林 豊彦, 森嶋繁生, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における口唇周囲軟組織の三次元運動解析. 日顎変形誌, 17: 189-199, 2007.
  - 13) 齋藤 功: バランスのとれた顔立ちとは?—矯正歯科医の立場から—. 甲北信越矯歯誌, 15: 13-19, 2007.
  - 14) 竹村 史, 森田修一, 八巻正樹, 齋藤 功, 高木律男, 齋藤 功: 偏位を伴う骨格性下顎前突症患者における外科的矯正治療後の正貌軟組織変化. 日顎変形誌, 17: 238-246, 2007.
  - 15) 中川公貴, 山田一尋, 齋藤 功: Le Fort II型骨切り術を併用した外科的矯正治療により中顔面の陥凹感を改善させた Apert 症候群の 1 例. 甲北信越歯誌, 15: 20-25, 2007.
  - 16) 碓井由紀子, 小野和宏, 朝日藤寿一, 幸地省子, 高木律男, 齋藤 功, 八木 稔: 二次的顎裂部骨移植の時期の違いが顎顔面の成長発育におよぼす影響について. 日顎変形誌, 32: 283-298, 2007.

#### 【研究成果報告書】

- 1) 齋藤 功: 新潟大学第 15 回全学 FD 「中教審答申と本学の大学院教育の充実」報告書・各研究科報告・医歯学総合研究科. 大学教育研究年報, 12: 10-12, 2007.
- 2) 齋藤 功, 渡邊直子: 咀嚼—機械的応力—に対する骨リモデリングのシミュレーションから下顎偏位を解明する. 平成 19 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 19592348, 2008.
- 3) 齋藤 功, 小野和宏, 魚島勝美: 歯学教育国際学会および会議における情報収集; 特色 GP 委員会「平成 19 年度・特色ある大学教育支援プログラム 報告書」, 平成 20 年 3 月, 17-23.
- 4) 齋藤 功, 魚島勝美: 若手教員によるカリフォルニア大学サンフランシスコ校歯学部における臨床実習および基礎実習の視察; 特色 GP 委員会「平成 19 年度・特色ある大学教育支援プログラム 報告書」, 平成 20 年 3 月, 87-98.
- 5) 齋藤 功: 特色 GP 講演会「Challenges and Opportunities in Dental Education and Research at the University of Michigan School of Dentistry」報告; 平成 19 年度特色ある大学教育支援プログラム・報告書, 平成 20 年 3 月, 127-141.
- 6) 越知佳奈子: 統一モデリング言語による顎顔面非対称症例の客観的表記方法の開発とその臨床応用. 平成 19 年度文部科学省科学研究費補助金, 若手研究 (B) 課題番号 60397122, 2008.
- 7) 原田史子: 水分子を指標にした歯の移動に伴う神経—グリア相互作用. 平成 19 年度文部科学省科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 19791571, 2008.
- 8) 原田史子: 神経—グリア相互作用の検索—下歯槽神経切断モデルを用いて—. 平成 19 年度 新潟大学プロジェクト推進経費 (助成研究), 2008.

#### 【講演, シンポジウム】

- 1) Saito I: Open bite and diverted bite treated with orthodontic tx alone in combination with orthognathic surgery. Abstract p. 18, Forum for 15th Anniversary of Faculty of Dentistry, University of Baiturrahmah, Padang, Indonesia, 2007. 6. 20-24.
- 2) 森田修一, 八巻正樹, 澤田美穂, 竹山雅規, 中村順一, 寺田康子, 山田秀樹: 「下突咬合の治り方, 治し方」—55 症例を顧みて—. 第 29 回与五沢矯正研究会, 富山, 2007. 4. 17.
- 3) 齋藤 功: 外科的矯正治療を行う上での基本的な流れ—初診から保定終了まで—. 研修会資料集, 4-7, 日本顎変形症学会第 3 回教育研修会, 新潟, 2007. 6. 20. 日顎変形誌, 17: 278-281, 2007.
- 4) 齋藤 功: 「診断と治療計画—あなたならどうしますか?—」日顎変形誌, 17 (2): 107, 日本顎変形症学会第 3 回教育研修会, 新潟, 2007. 6. 22.
- 5) 八巻正樹: 「顎矯正手術のボーダーラインを考える」. 日顎変形誌, 17: 92-93, 第 17 回顎変形症学会総会, 新潟, 2007. 6. 22.

#### 【学会発表】

- 1) Takeyama M, Miyagi T, Nakagawa M, Ono K, Saito I.: Clinical investigation on orthodontic treatment in cleft lip and palate patients. abstract: 129, 83rd Congress of the European Orthodontic Society, Berlin, Germany, 2007. 6. 20-24.
- 2) Al-Gunaid T, Asahito T, Yamaki M, Kanayama K, Ono K, Saito C, Hanada K, Takagi R, Saito I.: Relapse Tendency in the Maxillary Arch Widths in Unilateral Cleft Lip and Palate Patients with Different Maxillary Arch Forms. abstract: 12, The 6th Asian-Pacific Cleft Palate Congress, India, 2007. 9. 2-5.
- 3) Al-Gunaid T, Yamada K, Yamaki M, Saito I.: Soft-tissue cephalometric norms in Yemini adult males. 平成 19 年度新潟歯学会総会, 新潟, 2007. 4. 14. 新潟歯学会誌, 37: 71, 2007.

- 4) Harada F, Ohishi M, Aita M, Yamamura K, Maeda T.: Expression of aquaporin-1 in the mechanoreceptors in the periodontal ligament. Neuroscience 2007, the annual meeting, San Diego, CA, Nov 3-7, 2007.
- 5) Kanayama K, Watanabe N, Takeyama M, Yamaki M, Kohei A, Saito I.: Long-term changes in the occlusion after orthodontic treatment. 6th Asian Pacific Orthodontic Conference, Bangkok, 3. 27 - 30. 2008, abstracts : 88, 2008.
- 6) Al-Gunaid T, Takagi R, Saito C, Yamaki M, Saito I.: Postoperative stability of bimaxillary surgery in Class III patients with mandibular deviation. 6th Asian Pacific Orthodontic Conference, Bangkok, 3. 27 - 30. 2008, abstracts : 51, 2008.
- 7) 朝日藤寿一, 寺田員人, 小野和宏, 八木 稔, 吉羽邦彦, 小林正治, 飯田明彦, 櫻井直樹, 竹石英之, 毛利 環, 松山順子, 田中 礼, 瀬尾憲司, 寺尾恵美子, 北村絵里子, 齋藤 功, 齋藤 力, 児玉泰光, 高木律男, かづきれいこ: 新潟大学医歯学総合病院・歯科における口蓋裂診療班の活動について. 第31回日本口蓋裂学会総会・集会, 草津, 2007. 5. 24-25, 日本口蓋裂学会雑誌, 32 (2) : 163, 2007.
- 8) Al-Gunaid T, 朝日藤寿一, 齋藤 力, 高木律男, 小野和宏, 小原彰浩, 八巻正樹, 花田晃治, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂における上顎歯列弓拡大後の変化との関連性. 第31回日本口蓋裂学会総会・集会, 草津, 2007. 5. 24-25, 日本口蓋裂学会雑誌, 32 (2) : 225, 2007.
- 9) 児玉泰光, ソフハンウバイダス, 生越 章, 小野和宏, 小栗由充, 齋藤 功, 遠藤直人, 高木律男: 多発性線維性骨異形成症患者における両側性口唇口蓋裂の治療経験. 第31回日本口蓋裂学会総会・集会, 草津, 2007. 5. 24-25, 日本口蓋裂学会雑誌, 32 (2) : 267, 2007.
- 10) 福嶋牧子, 金谷登紀子, 金子 昇, 森田修一, 宮崎秀夫, 齋藤 功: マルチブラケット装置装着患者に対する結晶性セルロースを用いたエアポリッシングの有用性について. 第22回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2007. 6. 10, 甲北信越矯正歯学誌, 15 : 59, 2007.
- 11) 竹村 史, 森田修一, 八巻正樹, 齋藤 功: 偏位を伴う骨格性下顎前突症患者における外科的矯正治療後の正貌軟組織変化について. 第22回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2007. 6. 10, 甲北信越矯正歯学誌, 15 : 60, 2007.
- 12) 寺田員人, 吉田 満, 佐野奈都貴, 金山 潔, 齋藤 功, 七里佳代: 外科的矯正治療後の精神的状態について. 第22回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2007.6.10, 甲北信越矯正歯学誌, 15 : 60, 2007.
- 13) 中川麻里: 叢生を伴うアングルⅡ級2類症例. 第22回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2007.6.10, 甲北信越矯正歯学誌, 15 : 64, 2007.
- 14) 小栗由充: 下顎右側側切歯の欠損を伴う過蓋咬合症例. 第22回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2007.6.10, 甲北信越矯正歯学誌, 15 : 64, 2007.
- 15) 宮城尚史: 叢生を伴う上顎前突症例. 第22回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2007.6.10, 甲北信越矯正歯学誌, 15 : 65, 2007.
- 16) 原田史子: 上下顎第一小臼歯および上顎第二大臼歯を抜歯した上下顎前突症例. 第22回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2007. 6. 10, 甲北信越矯正歯学誌, 15 : 70, 2007.
- 17) 山崎幸一, 石井一裕, 小林正治, 中村順一, 森田修一, 齋藤 功, 齋藤 力: 上顎歯槽基底幅径が小さい症例に対し上顎骨側方骨延長術を併用した矯正治療例. 第17回顎変形症学会総会, 新潟 2007. 6. 21-22, 日顎変形誌, 17 : 122, 2007.
- 18) 小栗由充, 長沼一雄, 原田史子, 渡辺 厚, 八巻正樹, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室に来院した過去7年間の顎変形症患者に関する臨床統計調査. 第17回顎変形症学会総会, 新潟 2007. 6. 21-22, 日顎変形誌, 17 : 123, 2007.
- 19) 小林正治, 小田陽平, 加藤健介, 長谷部大地, 泉直也, 高田佳之, 齋藤 功, 齋藤 力: 下顎骨前方移動後に生じる Progressive Condylar Resorption のリスクファクター. 第17回顎変形症学会総会, 新潟 2007. 6. 21-22, 日顎変形誌, 17 : 139, 2007.
- 20) 竹村 史, 森田修一, 八巻正樹, 齋藤 功, 齋藤 力, 高木律男: 偏位を伴う骨格性下顎前突症患者における外科的矯正治療後の正貌軟組織変化－手術法の違いによる術後変化の検討－. 第17回顎変形症学会総会, 新潟, 2007. 6. 21-22, 日顎変形誌, 17 : 163, 2007.
- 21) 西奈まるか, 藤村英理子, 岩淵由香, 山中恵美子, 志村美代子, 吉澤恵美, 渡辺聡子, かづきれいこ, 寺田員人, 北村絵里子, 齋藤 功: リハビリメイクによる QOL の向上. 第14回日本歯科医療福祉学会総会・大会, 福岡, 2007. 6. 24.
- 22) 小野和宏, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤 功, 八木 稔, 大内章嗣, 興地隆史, 前田健康: 新潟大学新歯学教育課程の教育効果－生涯学習能力に関する学生の自己評価結果について. 第26回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 岐阜, 2007. 7. 6-7.
- 23) Hemouidi Y, Yamada K, Asahito T, Saito I. : A retrospective comparison of lateral craniofacial

morphology in early and late secondary alveolar-bone-grafted unilateral cleft lip and alveolar process patient. 平成19年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2007. 7. 11.

- 24) 桜井直樹, 荒井良明, 高木律男, 林孝文, 野村修一, 西山秀昌, 安島久雄, 高田佳之, 佐藤一夫, 福井忠雄, 細貝暁子, 加藤一誠, 宮島久, 岡崎敦子: IPTV電話を応用した顎関節症遠隔診断の試み. 第20回日本顎関節学会学術大会, 仙台, 2007. 7. 14-15.
- 25) 越知佳奈子, 山添清文, 松原大樹, 森田修一, 齋藤功: 歯列-歯槽部の三次元解析システムの開発-第2報 上顎歯列への応用-. 第66回日本矯正歯科学会大会, 大阪, 2007. 9. 19-21, 抄録集: 109, 2007.
- 26) 渡邊洋平, 毛利環, 福田純一, 芳澤享子, 齋藤功: 矯正治療における歯根完成歯自家歯牙移植の長期臨床的術後経過-移植歯の成績と患者の評価について. 第66回日本矯正歯科学会大会, 大阪, 2007. 9. 19-21, 抄録集: 200, 2007.
- 27) 金山潔, 渡邊直子, 竹山雅規, 中村順一, 八巻正樹, 寺田員人, 齋藤功: 矯正治療終了後における咬合状態の長期的変化. 第66回日本矯正歯科学会大会, 大阪, 2007. 9. 19-21, 抄録集: 201, 2007.
- 28) 澤田美穂, 八巻正樹, 竹山雅規, 中村順一, 森田修一, 齋藤功: 矯正単独治療による下顎前突の治り方-下顎骨の時計方向への回転を予測する. 第66回日本矯正歯科学会大会, 大阪, 2007. 9. 19-21, 抄録集: 212, 2007.
- 29) 寺田員人, 吉田満, 佐野奈都貴, 松原大樹, 小原彰浩, 齋藤功, 森嶋繁生: 外科的矯正治療後のスマイルの三次元的変化. 第66回日本矯正歯科学会大会, 大阪, 2007. 9. 19-21, 抄録集: 251, 2007.
- 30) 永井正紀, 小林正治, 長谷部大地, 加納浩之, 五島秀樹, 齋藤功, 齋藤力: 下顎前突症患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. 平成19年度第2回歯学会例会, 新潟, 2007. 11. 10, 抄録集: 37, 2007.
- 31) 相川弦, 高田佳之, 小林正治, 齋藤功, 林孝文, 齋藤力: 顎変形症患者の顎関節症状と骨格形態との関連について. 平成19年度第2回歯学会例会, 新潟, 2007. 11. 10, 抄録集: 37, 2007.
- 32) 渡邊洋平, 毛利環, 竹山雅規, 八巻正樹, 芳澤享子, 福田純一, 齋藤力, 高木律男, 興地隆史, 齋藤功: 矯正治療患者における歯根完成歯自家移植の長期臨床的術後経過-移植歯の成績と患者の評価について-. 平成19年度第2回歯学会例会, 新潟, 2007. 11. 10, 抄録集: 37, 2007.

- 33) 三瀬泰, 森田修一, 八巻正樹, 齋藤力, 高木律男, 齋藤功. 重度の上顎前突症例における治療前後の硬, 軟組織側貌変化-外科的矯正治療と矯正単独治療との比較-. 平成19年度第2回歯学会例会, 新潟, 2007. 11. 10, 抄録集: 37, 2007.

#### 【その他】

- 1) 齋藤功: 歯並び(矯正)治療の歴史. あさひまち展示館提供セミナー『歯科の歴史-歯科治療の変遷-』, 新潟市・新潟大学駅南CLLIC, 2007. 10. 24.
- 2) 古里美幸: 片側性唇顎口蓋裂患者の成長発育に伴う外鼻形態の変化について. 新潟歯学会雑誌, 37: 57-59, 2007.
- 3) 鳥巢隆弘: 顎顔面形態と筋突起形態との関連性について-横断的資料を用いた統計的評価-. 新潟歯学会雑誌, 37: 227-230, 2007.

#### 【訳書】

- 1) Hans Pancherz, Sabine Ruf (著): 毛利環, 加治彰彦, 宮島邦彰 (訳): (伊藤学而, 中島榮一郎, 山本照子, 清水典佳, 大塚裕純編). 別冊 the Quintessence 臨床家のための矯正 YEAR BOOK 2007 グレード別症例から学ぶ治療の実際. クインテッセンス出版, 219 - 233, 2007.

#### 【受賞】

- 第66回日本矯正歯科学会大会 優秀発表賞  
渡邊洋平, 毛利環, 福田純一, 芳澤享子, 齋藤功: 矯正治療における歯根完成歯自家歯牙移植の長期臨床的術後経過-移植歯の成績と患者の評価について-, 大阪, 2007. 9. 19-21.

### 小児歯科学分野

#### 【論文】

- 1) Hayashi-Sakai S, Watanabe J, Taguchi Y and Noda T: Occlusal guidance for unilateral scissors bite in primary dentition: A case report. Ped Dent J, 17(2): 160-166, 2007.
- 2) Kitagawa J, Shingai T, Kajii Y, Takahashi Y, Taguchi Y and Matsumoto S: Leptin modulates the response to oleic acid in the pharynx. Neurosci Lett, 423(2): 109-112, 2007.
- 3) Sato T, Matsuyama J, Mayanagi G, Abiko Y, Kato K and Takahashi N: Nested PCR for the sensitive detection of cariogenic bacteria. Cariology Today 3(1): in press, 2007.
- 4) Taguchi Y, Hayashi-Sakai S and Tsuda T: Severe cases of ectopically erupting maxillary canine with